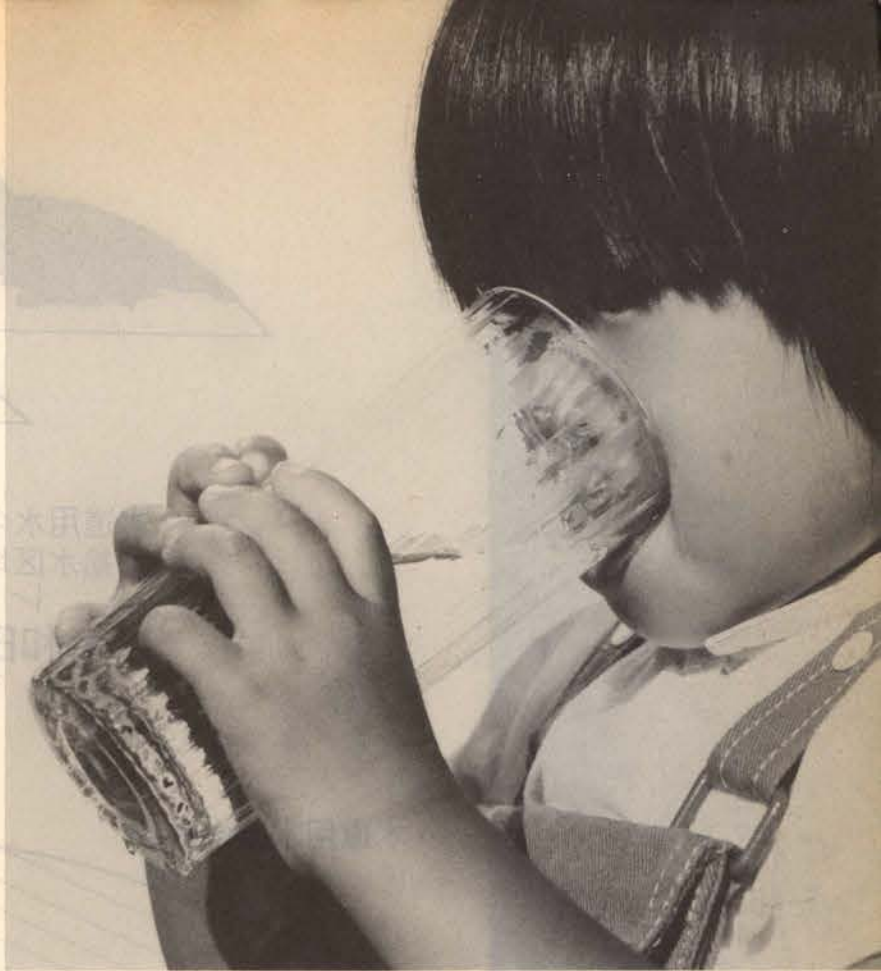


表-1 おいしい水の条件

(厚生省おいしい水研究会)

項目	条件	おいしい水の条件	水道原水水源 (新信砂川)	水道浄化水質 (蛇口から出る水)	厚生省水質基準
・臭気 ・水温 ・PH	異臭味がないこと 比較的低いこと 1) 弱酸性である水 2) 遊離炭酸を多く含む (炭酸ガス)	3以下 20℃以下 6.0~7.5 3~30mg/ℓ	無 4℃ 6.9	無 8.2℃ 6.8	異常でないこと 5.8以上 8.6以下
・硬度(Ca, Mgなど) ・過マンガン酸 カリ消費量 ・残留塩素	硬度が低いこと 過マンガン酸カリ消費量が 低いこと 塩素イオンが比較的低濃度 であること	10~100mg/ℓ 3mg/ℓ以下 (地下水は1.5mg/ℓ以下) 0.4mg/ℓ以下	10.7 3.2 <0.01	9.8 1.5 0.30	300mg/ℓ以下 10mg/ℓ以下 -
・蒸発残留物 ・鉄	蒸発残留物が少ないこと	30~200mg/ℓ 0.02mg/ℓ以下	32 0.06	38 <0.05	500mg/ℓ以下 0.3mg/ℓ以下

※留萌市水道部 平成3年5月16日~23日 検査結果



留萌市の水道の水源は？

私たちの使っている水道水はどこで取っているのでしょうか？
留萌市の水道水は、隣町の増毛町を流れる新信砂川の水を取っているのです。新信砂川は、暑寒別岳を源としています。取水量は日量一四、八六〇m³です。しかし、これだけでは足りませ

せん。北海道開発局がチバベリ川に建設中の留萌ダムから日量一〇、〇〇〇m³の水を補給する計画です。

浄水場は？

新信砂川から取水された水はどこで浄化されるのでしょうか？
留萌市内には、浄水場がありません。

留萌市の水道の水は？

留萌市の水道水はおいしいのでしょうか？留萌市の水道の水は、前段で説明したように、増毛町を流れる新信砂川です。新信砂川は、取水地点より上流に水質汚濁の原因となるようなものがなく、清浄な河川です。そこで取水される水の水質は表1のようになっています。先の「おいしい水の条件」に照らしてみると殆どが条件を満たしています。

それでは、蛇口から出てくる水道水はどうでしょうか。水道水の水質も表1にのせてあります。新信砂川の水が満足していません。新信砂川の水が満足していません。ただ、鉄についてはどちらも条件を満たしていませんが、厚生省水質基準に適合しており、全体としては、各家庭の蛇口から出てくる水道水は、おいしい水と言えるのではないのでしょうか。

道内の主な河川では、水質について環境基準の類型指定が行

増毛町新信砂にある留萌市上水道新信砂浄水場で浄化されま

主な給水系統は？

新信砂川から取った水はどのようにして私たちの家庭まで給水されるのでしょうか？先ず川から取水された水は留萌市上水道新信砂浄水場で浄化されます。その後水は送水管(口径六〇〇mm、延長一三、三二七m)を通じて留萌市沖見町配水場の低区配水池へ送られ、ここから各家庭へ配られます。また、配水場より高い地区には、ポンプで高区配水池へ送られ、各家庭に配られます。

主な排水系統は？

各家庭で使われた水はどこへ行くのでしょうか？現在は、下水道が未普及なので家庭や団地ごとに排水を浄化し、近くの川に流しています。このため、排

われています。新たな水道の水源となる留萌ダムの建設されている留萌川も類型指定がされています。留萌川の水質は環境基準を満たしています。

家庭で使う水の量は？

家庭で使う水の量はどの位でしょうか？留萌市が一日に使う水道水は最大で一四、七四六m³/日(平成二年度実績)です。この中には家庭の他に、水産加工工場、ホテル、スーパー、病院、学校などがふくまれますが、給水人口一人一日当たりでは、四七〇ℓにもなります。

留萌市の平成二年度の調査によると、家庭で一人が一日に使う水は、一六五ℓです。十八ℓ入りポリタンクで約九杯ということになり、灯油を持ち運んだ人なら分かるでしょう。大変な量になります。

湯水の心配は？

新信砂川では、河川の湯水による給水制限を行ったことはありません。しかし、近年、一日の最大給水量が増加してきており、さらに、水洗便所の普及な

水の一部が留萌川に流れ込み水質が悪化しています。排水口がどこか一度確認してみてください。留萌市では、平成四年度の供用を目指し、JR留萌駅裏側に下水道浄化センターを建設中です。完成すると、処理区域内の各家庭から出された汚水が浄化処理され、きれいな水が留萌川に流されます。

おいしい水とは？

日本は世界的に見て水の豊かな国と言われています。それではその水はおいしい水と言えるのでしょうか？厚生省がまとめた「おいしい水の条件」は表1のようになっています。これによると冷たくカルシウムや有機物を含まない水がおいしい水と言われています。



ど生活様式の変化や核家族化などにより、まだまだ水需要が伸びると考えられています。そうになると、現在の新信砂川だけでは限界に達します。新たな水源を確保することが必要です。そこで、留萌市では留萌ダム建設に参加して水源を確保しようとしています。

留萌ダムで確保した日量一〇、〇〇〇m³の水は、今後の留萌市の水をまかなう上で貴重なものです。ただ、ダムが完成するまでには、長い時間がかかります。それまでの間は新信砂川しか水源はありません。今後とも節水にご協力をお願いいたします。

